

令和5年8月

第2回臨時教育委員会会議

会 議 録

令和5年8月22日開催

会 議 録

開催日時	令和5年8月22日（火）	午後2時 午後2時57分	開会 閉会		
場所	旭川市教育委員会 会議室				
出席者	教育長 及び委員	教育長 野崎 幸宏, <small>教育長職務代理者</small> 本田 哲嗣, 委員 近藤 美保 委員 山崎 與吉, 委員 坂田 葉子			
	事務局	説明員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"> 学校教育部長 品田 幸利 学校教育部次長 石原 伸広 学校教育部次長 眞田 眞 学校教育部次長 末木 良典 学務課長 山本 厚 </td> <td style="width: 50%;"> 社会教育部長 佐藤 弘康 社会教育部次長 主藤 肇 文化ホール担当課長 松里 秀一 </td> </tr> </table>	学校教育部長 品田 幸利 学校教育部次長 石原 伸広 学校教育部次長 眞田 眞 学校教育部次長 末木 良典 学務課長 山本 厚	社会教育部長 佐藤 弘康 社会教育部次長 主藤 肇 文化ホール担当課長 松里 秀一
		学校教育部長 品田 幸利 学校教育部次長 石原 伸広 学校教育部次長 眞田 眞 学校教育部次長 末木 良典 学務課長 山本 厚	社会教育部長 佐藤 弘康 社会教育部次長 主藤 肇 文化ホール担当課長 松里 秀一		
事務局員	教育政策課主査 朝倉 裕幸 教育政策課 金平 龍之介 学務課 森下 鈴音				
傍聴者	0人				
公開・非公開の別	一部非公開				
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会議録署名委員 3 前回会議録 4 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 令和6年度に使用する旭川市立中学校用教科用図書の採択について ・議案第2号 令和6年度に使用する旭川市立小中学校用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について ・議案第3号 旭川市いじめ防止等連絡協議会委員の任命又は委嘱について ・議案第4号 旭川市音楽堂等運営協議会委員の任命について ・議案第1号 令和6年度から使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択について ・報告第1号 学校運営協議会委員の任命（臨時代理）について 5 その他 6 閉会 				

審 議 内 容		
発 言 者	発 言 要 旨	
教 育 長	<p>《 開 会 》</p> <p>ただいまから、令和5年8月第2回臨時教育委員会会議を開会いたします。</p> <p>《会議録署名委員》</p>	
教 育 長	<p>本日の会議録署名委員は、本田委員、山崎委員を指名します。</p> <p>《 前回会議録 》</p>	
教 育 長	<p>会議録ですが、令和5年6月定例会、7月定例会、8月第1回臨時会及び8月定例会の会議録については、現在調製中でございますので、調製後、承認するということよろしいですか。</p>	
各 教 委 員 長	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め、令和5年6月定例会、7月定例会、8月第1回臨時会及び8月定例会の会議録については、調製後、承認することといたします。</p>	
教 育 長	<p>《 審 議 事 項 》</p> <p>それでは、審議事項に入ります。</p> <p>議案第1号「令和6年度に使用する旭川市立中学校用教科用図書の採択について」、議案第2号「令和6年度に使用する旭川市立小中学校用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について」、議案第3号「旭川市いじめ防止等連絡協議会委員の任命又は委嘱について」、議案第4号「旭川市音楽堂等運営協議会委員の任命について」、令和5年7月28日付け提出の議案第1号「令和6年度から使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択について」及び報告第1号「学校運営協議会委員の任命（臨時代理）について」は、その性質上、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により秘密会といたしたいと思っておりますが、いかがですか。</p>	
各 教 委 員 長	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め、議案第1号、議案第2号、議案第3号、議案第4号、令和5年7月28日付け提出の議案第1号及び報告第1号については、秘密会といたします。</p>	
教 育 長	<p>《 そ の 他 》</p> <p>他に、何かありますか。</p> <p>ありません。</p> <p>ありません。</p>	
教 育 長	<p>《 秘 密 会 》</p> <p>ここからは、秘密会といたします。</p> <p>ここで皆さんにお諮りいたします。</p>	

各
教
育
委
員
長

議案第3号「旭川市いじめ防止等連絡協議会委員の任命又は委嘱について」、議案第4号「旭川市音楽堂等運営協議会委員の任命について」及び報告第1号「学校運営協議会委員の任命（臨時代理）について」ですが、旭川市教育委員会会議規則のとおり、会議録には概要を記載することといたしたいと思いますが、いかがですか。

異議ありません。

「異議なし。」と認め、議案第3号、議案第4号及び報告第1号については、会議録には概要を記載することといたします。

また、議事運営の都合上、教科書採択に係る案件である令和5年7月28日付け提出の議案第1号と、議案第1号及び議案第2号は最後に取り扱いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

<議案第3号「旭川市いじめ防止等連絡協議会委員の任命又は委嘱について」>

令和5年9月2日から令和7年9月1日までを任期とする旭川市いじめ防止等連絡協議会委員を任命又は委嘱することについて説明があり、審議の結果、原案どおりこれを決定した。

<議案第4号「旭川市音楽堂等運営協議会委員の任命について」>

令和5年9月1日から令和7年8月31日までを任期とする旭川市音楽堂等運営協議会委員を任命することについて説明があり、審議の結果、原案どおりこれを決定した。

<報告第1号「学校運営協議会委員の任命（臨時代理）について」>

令和5年8月2日から令和6年3月31日までを任期とする学校運営協議会委員を任命することについて、教育長が臨時に代理した旨を報告し、報告のとおり了承した。

教
育
長

暫時休憩いたします。

（事務局入れ替え）

教
育
長

再開いたします。

前回に引き続き、令和5年7月28日付け提出の議案第1号「令和6年度から使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択について」を議題といたします。

経過の確認をしながら進めたいと思います。前回の8月定例教育委員会会議において、7種目の採択を終えたところです。

本日は、残りの6種目、生活、理科、英語、保健、算数、道徳について、種目ごとに最終段階の審議を行い、種目ごとに1者の教科用図書を採択するということといたします。その後、特別支援教育と中学校用教科用図書について審議をしたいと思います。

また、前回もお話しているところですが、皆さんの意見が一つになることが最も良いことだとは思いますが、しかしながら、全てが一致しない場合もあるかと思えます。まずは、皆さんで議論を尽くしたいと思いますが、難しい場合は、多くの御意見のあった教科書を採択することとしたいと思えます。それぞれ委員の皆さんから、本市の採択方針を踏まえ、御意見をいただきたいと思えますので、よろしく願いいたします。

それでは、生活の審議を行います。

本日も発表の順番は、前回と同様に本田委員、山崎委員、坂田委員、近藤委員、私の順でお願いします。それでは、本田委員から御意見を願います。

本 田 委 員	<p>私は、教育出版としました。</p> <p>生活科は、活動や体験を通して気付きの質を高めたり、習慣や技能を身に付けたりすることが大切です。教育出版は、主体的に活動の動機付けができるよう、単元の導入において、これまでの経験を想起させたり、意欲を喚起したりするための「わくわくスイッチ」や、生活科の学習を中学年以降の学習に接続できるよう、理科や社会科等の学習内容とのつながりを「はってん」で分かりやすく示されている点が良いと感じました。一方、東京書籍については、予想解決方法が、教科書の中に書かれており、子どもが考える機会を奪ってしまうのではないかと思いました。また、光村図書については、生活科の教科書は発行しておりますが、理科、社会科の発行がないことから、少し関連性が薄い教科書になってるのかなというように思いました。</p>
山 崎 委 員	<p>私も、教育出版としました。</p> <p>私は、先日の調査委員会の委員長の説明を聞き、教育出版と光村図書の2者で悩みましたが、教育出版の方が良いと思いました。教育出版は、児童が活動や体験を通して気付いたことを高められるよう、学習活動の流れやキャラクターの問いかけ、「ヒント」など具体的な手掛かりが示されていて良かったです。また、「学びのポケット」には、いろいろな見方や考え方として「見付ける」、「比べる」、「例える」などの考えの整理の仕方が示されていて良かったです。</p>
坂 田 委 員	<p>私も、教育出版としました。</p> <p>小学校3年生からの理科や社会科などへの移行がスムーズに行えるように意識されていて、教科書に「はってん」コーナーが設けられている点が良いと思いました。</p>
近 藤 委 員	<p>私も、教育出版としました。</p> <p>私は教育出版と東京書籍の2者で少し迷った部分がありましたが、低学年の子どもたちが使う教科書として、教育出版の教科書は、新しい学習を始める際、ページを開いたときに、活動の様子が分かる大きな写真のほかに、「わくわくスイッチ」コーナーがあり、子どもたちの興味・関心やわくわく感をそそるようなつくりになっている点が優れているかなと感じたので、教育出版としました。</p>
教 育 長	<p>私は、光村図書としました。</p> <p>漫画があることがどうかというところが、私の中では、一番のポイントとなりました。1，2年生というところで、体験や活動を基本とした教科で、理科、社会科につながっていくことから、まずは興味を持って楽しく取り組めるという観点から、教育出版か光村図書となりました。教育出版も「わくわくスイッチ」や「かんがえまとめいろ」というような形で、気付きを促すような形になっておりますが、取っ付きやすさというところで、光村図書を選んだところではあります。私は、教育出版でよろしいです。漫画がどちらに転ぶかという評価が難しかったところです。</p>
近 藤 委 員	<p>光村図書は、子どもの興味・関心を高める工夫として、絵本作家によるイラストなどを採用している点は優れていましたが、イラストに添えられている文字のフォントが、絵本独特のものであり、正しい文字を習得する発達の段階にある1，2年生にとって、正しい文字と言えるのかが気になり引っかかった部分ではありました。</p>
教 育 長	<p>それでは、生活については、審議の結果、教育出版に決定することによるよろしいですか。</p>
各 委 員	<p>はい。</p>
教 育 長	<p>次に、理科の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思います。</p>
本 田 委 員	<p>私は、教育出版としました。</p> <p>学習を進める上で、楽しくなければならぬということや、理科の場合、問題解決的な学習により、科学的に解決するために必要な資質・能力の育成が求められており、ほかの発行者も、似たような作りになっているとこ</p>

	<p>ろですが、小委員会からの説明にあったように、児童が主体的に学習に取り組む、問題解決の能力を身に付けることができるように工夫されていたものは教育出版だと思いました。また、観察・実験の結果を考察する活動と、問題に対する結論を表す活動を分けて位置付けるなど、問題解決能力の育成のための工夫がなされています。加えて、ノートを取り方の指導についても重要と考えており、他者もありますが、それも秀でているのは、教育出版だと思ったところです。</p>
山崎委員	<p>私も、教育出版としました。</p> <p>中学校とのつながりで、各単元の始めの「学習のつながり」の中で、これまでの学習内容と中学校での学習内容の記載があり、系統的に意識して学習ができるように工夫がされているところなどから、教育出版が良いと思いました。</p>
坂田委員	<p>私は、大日本図書としました。</p> <p>ビジュアルは教育出版が一番良いと思いましたが、教育出版は結論までの誘導が早いと感じましたので、考える力が育たないのではないかとということが懸念されました。</p>
近藤委員	<p>私は、教育出版としました。</p> <p>教育出版は、中学校へのスムーズな移行という点で工夫されており、また、文章と絵のバランスが良いと感じました。</p>
教育長	<p>私も、教育出版としました。</p> <p>大日本図書は、高学年が少し物足りないと感じたことと、イラストが少し多く感じたところがありました。東京出版は、写真は多いのですが、説明や解説が教育出版に比べて簡単かなと思います。教育出版は量が少し多いと思いましたが、ほぼ全ての単元において、課題設定、観察・実験、結論などの問題解決で構成されている過程ということや、中学校とのつながり、実験結果のグラフ化による考察方法のヒントや考察の着眼点や結論を導き出す際の考え方を示されているところが良いと思いました。また、発展的な学習内容を記載し、学習内容を更に深めたり、広げたりできるように工夫されていること、知識の習得もしやすい記載になっていることから、教育出版としました。</p>
坂田委員	<p>一通り御意見をいただいたところですが、大日本図書が1人、教育出版が4人となりましたが、ここで坂田委員いかがでしょうか。</p> <p>教科書を見ると学習の流れが分かりやすいが、結論が誘導されていると感じ、これでよいのかなと思ったところではありますが、教育出版でよろしいです。</p>
教育長	<p>それでは、理科については、審議の結果、教育出版に決定することによるのでしょうか。</p>
各委員	<p>はい。</p>
教育長	<p>それでは、理科は教育出版に決定します。</p>
本田委員	<p>次に、英語の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思います。</p> <p>私は、教育出版としました。</p> <p>英語は、小学校の段階で楽しくなければならなく、英語嫌いをつくるような教科書を与えてしまっはいけないと考え、題材が身近にあるということなどから、教育出版が良いのではないかと思います。少し量が多く、受験英語になりかねないという印象はありましたが、3、4年生で外国語活動を行った後、5、6年生で教科書を使って学習することを考えると教育出版が一番スムーズだと思いました。</p>
山崎委員	<p>私も、教育出版としました。</p> <p>東京書籍とも考えましたが、小委員会の報告で、東京書籍は書くことが多く、難しいと感じる児童もいるのではないかとということや、イラストや映像等を参考にしながらコミュニケーションを図る活動が多く位置付けられており、児童が英語で話したり聞いたりするために必要な力を育むこと</p>

		<p>ができるよう、工夫されていることなどから、教育出版の方が妥当だと思いました。</p>
坂田委員		<p>私も、教育出版としました。</p> <p>東京書籍と光村図書は、最初の単元から難しい学習であると感じたところです。教育出版は、単語集が教科書の中にあり、調べやすいのではないかと思います。</p>
近藤委員		<p>私も、教育出版としました。</p> <p>東京書籍は、坂田委員もおっしゃられたように、導入が難しいのではないかと思いますので、聞く活動を行った後、話す活動や書く活動を行うなど、無理なく段階的な活動が位置付けられており、苦手意識を持つことなくコミュニケーションを図る活動に取り組むことができるよう、工夫されていると考えるため、教育出版の方が良いと思いました。</p>
教育長		<p>私は、光村図書としました。</p> <p>聞く、書く、会話、発表、そして読むというようになっておりますが、楽しく学習できるということが一番だと思います。まずは会話ですが、会話するためには聞くことが大切であり、そこから会話ができると思います。いずれの教科書もスキットがあり、見て聞いて話をしてという活動は入っておりますが、東京書籍は、写真と記載欄が多いことから、教育出版か光村図書かのどちらかというところでした。どちらも良いと思いますが、スキットがあるのなら、端末がある以上、二次元コードで聞ける方が良いのだらうと思い、光村図書の方が聞く量が多かったと感じましたので、自分で聞ける量が多い光村図書を一番に選びました。ただ、教育出版の6年生の「My town is wonderful」で旭川のことを扱っておりましたので、そこは、少し捨て難いところではありました。</p> <p>二次元コードの面から光村図書としましたが、二次元コードよりも、楽しく学習できる方を選んだ方が良いと思いますので、私も教育出版にします。</p> <p>それでは、英語については、審議の結果、教育出版に決定することによってよろしいですか。</p>
各教員	委員	はい。
	教育長	<p>それでは、英語は教育出版に決定します。</p> <p>次に、保健の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思います。</p>
本田委員		<p>私は、G a k k e n としました。</p> <p>年間の総時数から考えて、保健の時数は少ないので、教科書をもって学ぶよりも、資料集のように使えることが良いのかなと思い、教科書を見て、見識を深めることや視野を広めることができるG a k k e n の教科書が良いと思いました。</p>
山崎委員		<p>私も、G a k k e n としました。</p> <p>小中連携について、中学校での学習内容を明記し、系統性を意識させて学習ができることや、いじめについて取り扱っていることなどから、学研が良いと思いました。</p>
坂田委員		<p>私も、G a k k e n としました。</p> <p>ほかの発行者は教科書に書き込むところはかなりあったことと、ワークシートはあるとは思いますが、「予想する」「調べる 話し合う」「学びを生かす」など学習の進め方が載せられており、その進め方に沿って児童が活動することで、自分の考えをしっかりと持ちながら話し合い等を行うことができるよう、工夫されていたのがG a k k e n だと思いました。</p>
近藤委員		<p>私も、G a k k e n としました。</p> <p>資料のページで「新型コロナウイルス」、「がん」などについて、写真やイラストなどがあり、内容が分かりやすく整理されており、本田委員がおっしゃったように、全部は恐らくやらないのかもしれませんが、読んだときに必要なものを書いてあるというところが、G a k k e n は秀逸かなと思い</p>

<p>教 育 長</p>	<p>ました。 私も、G a k k e nとしました。 G a k k e nは、不安や悩み、いじめのことについての対処や相談が、しっかりと書いてあり、相談先はこういうところがあるということの提示が多く、新たな健康課題等に対する正しい理解を促すよう、工夫されているというのが一番の決め手です。いじめについても、ほかの発行者ではあまり触れていないところでしたが、G a k k e nは、しっかりと記載しているところも良いと思いました。 ここは皆さんの意見が一致しました。保健については、審議の結果、G a k k e nに決定することによろしいですか。</p>
<p>各 委 員 長</p>	<p>はい。 それでは、保健はG a k k e nに決定します。 次に、算数の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思います。</p>
<p>本 田 委 員</p>	<p>私は、教育出版としました。 学習指導要領における算数科の目標の中で、数学的活動が強調されておりますが、それを具現化できるのは教育出版の教科書だと思いました。また、文字のポイントも工夫されており、すっきりしていると感じました。それから、子どもが様々な場面に関わりながら、課題意識を高めていくという流れになっており、目的意識を持って、主体的に数学的活動に向かうことのできる流れになっていると思いました。</p>
<p>山 崎 委 員</p>	<p>私も、教育出版としました。 練習問題を解く前に「たしかめ問題」を設定し、スモールステップで学習内容を確実に定着させるとともに、「ふり返ろう」「たしかめよう」や、「ステップアップ算数」を設定することにより、基本的な知識などを確実に身に付けられるよう、工夫されているところなどから、教育出版が一番良いのかなと思いました。</p>
<p>坂 田 委 員</p>	<p>私も、教育出版としました。 子どもたちが算数でつまづくところとして、繰り下がりのある引き算、2桁のかけ算、小数や分数、文章題の理解などがありますが、その点について、一番子どもたちにとって取り掛かりやすく、分かりやすく書いていたのが教育出版だと思いました。</p>
<p>近 藤 委 員</p>	<p>私も、教育出版としました。 それぞれの教科書で特徴があり、見た目の分かりやすさなどいろいろと工夫はされておりますが、イラストがあちらこちらにあり、見にくい教科書もあった中で、教育出版はしっかりと整理されているということと、教科書のいろいろなところに「つながるミカタ」があって、「だったら」などのキーワードをきっかけとして、子どもたちがこれまでに勉強したことを基にして、自分で考えを広げたり問題を解決したりできるように工夫されているなど、自分で考える力を育てるには、教育出版が良いと思いました。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>私も、教育出版としました。 いずれも丁寧に説明がされていて算数を理解して好きになってもらいたいという意図は、どの教科書にもあると思いました。基礎の理解、定着をしてもらいたい、また、理解することが楽しいと思ってもらいたいという点で比較をしたところ、教育出版が3桁の割り算が少し丁寧さに欠けるかなと思ったところもありましたが、日本文教出版では、3桁の繰り上がり繰り下がり、筆算の理解のさせ方が難しく感じるなどと比較をしていくと、教育出版の方が良いと思いました。復習を挟み、直前に確認だけでなく、大分前に学んだことを少し復習して次の学習の準備にも充てるといような設問があり、過重にならずに、定着と準備ができるようになっておりますので、練習問題が多くあり、過度にやるよりは、このような形で前のことを忘れずに、1回思い出してから次に入るというような作りをしている</p>

各教	委員	員長	<p>ところが良いと思いました。</p> <p>ここは皆さんの意見が一致しました。算数については、審議の結果、教育出版に決定することによろしいですか。</p>
本	田	委員	<p>はい。</p> <p>それでは、算数は教育出版に決定します。</p> <p>次に、道徳の審議に移ります。同様に御発言をいただきたいと思います。</p> <p>私は、日本文教出版としました。</p> <p>旭川の課題であるいじめについて、6年生で「わたしのせいじゃない」という傍観者を意識させるような良い題材もあり、丁寧に取り上げているのは日本文教出版だと思いました。道徳は、読み物を読んで、道徳的な指導内容を教え込むのではなく、自分を見つめることと、協働的、体験的な学習というのが求められておりますので、その内容が一番秀でていて、また、話し合い活動の学び方についても、優れているのが日本文教出版だと思います。とりわけ別冊ノートについては、指導者にとっても活用しやすくなっていると思いました。指導者にとって、ワークシートを作るのは大変な作業となりますので、ノートがあることによって、活用しやすく、児童が自分を見つめる時間の保障となるとともに、それを点検して評価につなげることができる良さもあると思えます。ただし、ノートは前回と違って、記述させる内容を自由に設定できますので、指導者が何を書かせるかということをしつかりと心がけなければならないと考えます。ほかの発行者については、読み物が少し長いと感じ、国語ではなく道徳ですので、1単位時間の中で、読むだけで終わってしまうようなことではいけないと思いました。</p>
山	崎	委員	<p>私も、日本文教出版としました。</p> <p>小委員会の調査結果にあった、「問題解決的な学習」、「体験的な学習」を扱った特設ページが分かりやすかったことや、ほかの発行者と比べ、別冊ノートが付いていることが特に良く、自分の考えや友達の意見を記録し、振り返りを行いながら、道徳的価値についての考えを深めることができると考えました。</p>
坂	田	委員	<p>私も、日本文教出版としました。</p> <p>東京書籍と日本文教出版で迷い、甲乙付けがたいところでしたが、やはり日本文教出版の別冊ノートは良いと思いました。教材的に非常に使いやすいし、子どもにとっても自分のノートに書くより、取り組みやすいと思いました。</p>
近	藤	委員	<p>私も、日本文教出版としました。</p> <p>道徳と国語の違いは、道徳は、読み物を読んで自分がどう考えるのか、自分がこれからどうしていかなければならないのか、みんながどう考えるのかということを考える授業だと思えます。そこで、自分自身が分かったり、自分が知らなかった自分を知るようなことができたりする授業だと思えますので、その発問の仕方について、日本文教出版が良かったと思えます。あと、ノートに書くということは、とても大事なことだと思っており、書いているうちに考えがまとまっていくというのが人間なのかなと思えますので、別冊ノートがあるのも大きな決め手となりました。</p>
教	育	長	<p>私も、日本文教出版でした。</p> <p>どれも考えさせる話を掲載しており、良いなとは思いましたが、発達段階を考えることと、学習や道徳性の成長の様子を継続的に把握するという考えた上で選んだとき、東京書籍については、低学年で難しい題材がかなりあると思えます。G a k k e n は、全体的に短い編集で話し合う時間は取りやすいのかなと思いました。二次元コードも少なく、道徳は自分で考える時間なので、二次元コードはあまりいらぬのかなという感覚もあるところです。日本文教出版は、コンパクトで別冊ノートも活用ができることと、いじめ対策も明記されております。先ほど、本田委員もお話</p>

		<p>しされましたが、6年生の「わたしのせいじゃない」という題材は、いろいろな意見ができてすごく良い題材だと思ったところであり、日本文教出版としました。</p> <p>ここは皆さんの意見が一致しました。道徳については、審議の結果、日本文教出版に決定することによろしいですか。</p>
各教	委員	<p>はい。</p> <p>それでは、道徳は日本文教出版に決定します。</p> <p>これで13種目について、発行者を1者それぞれ採択するという審議は終わりました。</p>
学務課	課長	<p>次に、特別支援教育について確認をしたいと思います。事務局から説明をお願いします。</p> <p>特別支援教育については、北海道教育委員会から通知されております「令和6年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択基準」に示されています。</p> <p>この採択基準では、小学校及び中学校の特別支援学級で特別の教育課程を編成し、教科により当該学年用の文部科学省の検定済教科用図書を使用することが適当でない場合は、文部科学省の検定済教科用図書の下学年用、それから文部科学省著作教科書、そして一般図書を採択するというようになっております。</p> <p>まず、文部科学省の検定済教科用図書については、これまでの審議で決定してきたとおりです。文部科学省著作教科書については、旭川市教科書調査委員会の特別支援教育小委員長から説明もありました、今年度発行された生活と、現在も使用している国語、算数、音楽の文部科学省著作教科書全てを採択したいと思います。</p>
教	育	<p>ただいま説明のあったとおり、文部科学省の検定済教科用図書の下学年用、文部科学省著作教科書を採択することで御異議ありませんか。</p>
各教	委員	<p>異議ありません。</p>
各教	委員	<p>「異議なし。」と認め、そのように決定します。</p> <p>なお、残りの一般図書については後ほど議案第2号で審議します。</p> <p>これで、13種目及び一般図書を除く特別支援教育について、審議をし、決定しました。採択の結果について、ここで確認をしておきたいと思えます。事務局から報告をお願いします。</p>
学務課	課長	<p>令和6年度から使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択結果について、報告します。</p> <p>国語については、発行者番号38番光村図書出版株式会社。 書写については、発行者番号17番教育出版株式会社。 社会については、発行者番号2番東京書籍株式会社。 地図については、発行者番号46番株式会社帝国書院。 算数については、発行者番号17番教育出版株式会社。 理科については、発行者番号17番教育出版株式会社。 生活については、発行者番号17番教育出版株式会社。 音楽については、発行者番号27番株式会社教育芸術社。 図画工作については、発行者番号116番日本文教出版株式会社。 家庭については、発行者番号9番開隆堂出版株式会社。 保健については、発行者番号224番株式会社Gakken。 英語については、発行者番号17番教育出版株式会社。 道徳については、発行者番号116番日本文教出版株式会社。</p> <p>特別支援教育につきましては、本市が採択した文部科学省検定済教科書の下学年用及び同一内容の拡大教科書のほか、文部科学省著作教科書、以上でございます。</p>
教	育	<p>令和6年度から使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択について、確認をさせていただきましたが、御異議ありませんか。</p>

各教	委員	長	異議ありません。 「異議なし。」と認め、そのように決定します。
学務課	長		次に、議案第1号「令和6年度に使用する旭川市立中学校用教科用図書の採択について」、説明願います。
教各教	委員	長	令和6年度に使用する中学校用教科用図書につきましては、社会（歴史的分野）以外については令和2年度に、社会（歴史的分野）については令和3年度に採択を行ったところであり、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条の規定に基づき、政令で定める期間である4年間は、毎年度、種目ごとに同一の教科書を採択することとされていることから、現在使用している教科用図書を採択することについて、御審議いただきたいと思ひます。
教各教	委員	長	本案について、御意見、御質問等はありませんか。
各教	委員	長	ありません。
各教	委員	長	それでは、議案第1号「令和6年度に使用する旭川市立中学校用教科用図書の採択について」は、原案どおり決定することで御異議ありませんか。
学務課	委員	長	異議ありません。 「異議なし。」と認め、議案第1号については、原案どおり決定します。
学務課	委員	長	次に、議案第2号「令和6年度に使用する旭川市立小中学校用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について」、説明願います。
学務課	委員	長	令和6年度から使用する小学校用教科用図書及び中学校用教科用図書を採択いただいたところでございますが、特別支援学級において当該教科用図書を使用することが適当でない場合、児童生徒一人一人の障害の種類や程度、能力に応じた内容のものを教科用図書として使用することができるように、北海道教育委員会が採択した「道立特別支援学校の小学校部及び中学校部において令和6年度に使用する学校教育法附則第9条に規定する教科用図書（一般図書）選定一覧」に掲載されている一般図書を採択することについて、御審議いただきたいと思ひます。
教本	委員	長	本案について、御意見、御質問等はありませんか。
教本	委員	長	膨大な量の図書がありますが、必ずしも全てが完備されていなくてもよく、それぞれの子どもの障害の種類や程度、能力に応じて、選択するというところでよろしいですか。
学務課	委員	長	そのとおりです。
学務課	委員	長	子どもの障害の種類や程度、能力に応じて、一般図書を活用していただきたいと思ひますので、各学校には、しっかりと見ていただくよう伝えていただければと思ひます。
近学	委員	長	選ぶ際の見本本はあるのでしょうか。
近学	委員	長	一般図書の場合は、特別支援学校の方に整備されておまして、学校から見せてほしいと依頼があった場合は、旭川管内にあります道立の特別支援学校に連絡を取り、貸していただいております。
教各教	委員	長	他に御意見、御質問等はありませんか。
教各教	委員	長	ありません。
教各教	委員	長	それでは、議案第2号「令和6年度に使用する旭川市立小中学校用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について」は、原案どおり決定することで御異議ありませんか。
各教	委員	長	異議ありません。 「異議なし。」と認め、議案第2号については、原案どおり決定します。
各教	委員	長	これまで教科書採択については、4回にわたって御審議をいただきましたが、本日をもって教科書の採択にいたりました。皆さんの御協力に感謝申し上げます。
			《 そ の 他 》

教 育 長 本 田 委 員	<p>他に、何かありますか。</p> <p>デジタルについても注目していただき、旭川市においても調査研究を進めて、現場で使いやすく、そして、子どもが使えるような形にしていく必要があると思います。これは今後とも続くと思われまし、教科も増えていくと思います。機器の故障や家庭での通信環境などの課題があるかと思われまし、誰一人取り残すことのない令和の日本型学校教育というその視点は忘れずに取り組んでいただきたいと思います。</p>
教 育 長 各 委 員 事 務 局 教 育 長	<p>他に、何かありますか。</p> <p>ありません。</p> <p>ありません。</p> <p>それでは、以上で令和5年8月第2回臨時教育委員会会議を終了いたします。</p> <p>《 閉 会 》</p>